

入館者からの感想や意見・要望等

広島祈念館 1頁～2頁

広島祈念館における入館者からの感想や意見・要望等

1. 概要

平成14年9月から「感想ノート」を置き、入館者に感想や意見等を自由に記入してもらっている。

通常は、外国語（英語、韓国・朝鮮語、中国語、フランス語、スペイン語、ドイツ語、イタリア語等）の記述が多く見受けられるが、令和3年度は、3回の休館及び海外からの旅行者激減により、外国語での記述は少なかった。

2. 主な意見・要望等

(1) 施設について

- 入館者が少ないこと。

(2) 展示について

- 展示はきれいで実感が伝わらない。

3. 感想

- 「わが命つきるとも」は大変大きな衝撃を与えました。戦後広島に生まれ、姉や祖母も原爆で亡くしましたが、（戦前はこの中島町に住んでいました。）多くのことを家族や周囲の人たちから聞いてきましたがこのフィルムほど、くわしく聞いたことはありませんでした。国籍をこえ、救命にあたられた神父様たちに深く敬意を払います。多くの方々がこのフィルムを見て下さいますように。
- 私は原爆投下1ヶ月後に産まれました。母は臨月真近のお腹をかかえて逃げまどったと言っておりました今の本通りに商店を持っていた祖母や親類は皆亡くなりました。祖母の骨は一片も見つかりませんでした原爆が落ちてなかったら皆の人生は違っていただろうと思います。
- あたり前の平和をあたり前にしないため、私達は何ができるのでしょうか？広島で原爆の犠牲になった人は日本人だけではないことが改めてわかりました。「本当にそんなことがおきるの？」というくらい恐ろしい出来事だということが分かった。日本人だけでなく、外国人も同じように人々を助ける為、活動して誰でも原爆の被害をみたのであれば、きっとみな平等に悲しいのではと思いました。思いだしたくもない辛い出来事を残し未来へつなげてくれてありがとうございます。二度と同じあやまちをおこさないよう、平和を祈ります。
- I am an American with Japanese family. Before Pearl Harbor my grandmother lived a normal life with her parents who immigrated from Japan. Her father's sister

also lived in Pearl Harbor with them. After the attack, all Japanese people were either to be rounded up and relocated to camps, or be sent back to Japan. Many chose to return rather than suffer through internment camps. My grandmother and her parents decided to stay. However, his sister and her family moved back to their home city of Hiroshima. My great grandfather's sister and all of his family here died in the bombing. His ashes were brought back after his death. This memorial allowed me to see some of the family I never got to meet.

日本人の家族がいるアメリカ人です。真珠湾攻撃前、私の祖母は日本から移民した両親と共に普通の生活を送っていました。祖母の父の妹も、彼らとともに真珠湾に住んでいました。真珠湾攻撃以後、全ての日本人は逮捕されたり、強制収容所に入れられたり、日本に送還されたりしました。多くが収容所での辛い生活を送るよりも日本に戻ることを選びました。私の祖母と彼女の両親は現地に残ることを選びましたが、妹と彼女の家族は、故郷である広島に戻りました。私の曾祖父の妹と関係する家族は皆、原子爆弾の犠牲になりました。曾祖父の死後、遺骨は日本に戻りました。この追悼祈念館で、私はこれまで直接はあったことのない家族に会うことができました。世界平和を祈ります。

- When I see the memorials and the accounts of the survivors, I wonder why we still have nuclear weapons today? Just to show how strong a country is against a threat that may never come? There is a saying: "An eye for an eye makes the whole world blind." I think it was Mahatma Gandhi who said it.

I pray that the victims and survivors and their families find peace. I pray that nuclear weapons will be eradicated in my lifetime, and that we will no longer live in fear of total war started by Great Powers and their hunger for supremacy.

原爆犠牲者の遺影を見たり、体験記を読んで、なぜ今だに我々は原子爆弾を持っているのかと不思議に思っている。やってくるはずもない脅威に対して、ただ国の威力を見せつけるためだけなのでは。マハトマ・ガンディーが残した「目には目を、でいけば全世界は盲目になるだけだ」という言葉がある。犠牲者や、被爆者、彼らの家族に平和が訪れることを祈る。私の生きているうちに核兵器が廃絶されることを祈る。そうすれば、大国が利権争いのために始める全面戦争という脅威の中で生活しなくてもよくなるのだから。